



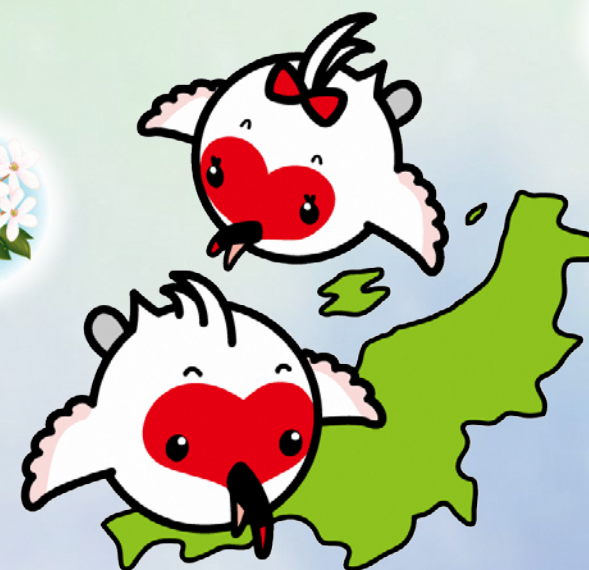
令和8年3月発行

作成:新潟県がん診療連携協議会 情報連携部会
新潟県福祉保健部地域医療政策課

患者必携

がんサポートハンドブック

地域の療養情報にいがた



新潟県がん診療連携協議会 情報連携部会
新潟県

はじめに



「がんサポートハンドブック(地域の療養情報にいがた)」は、あなたが住み慣れた地域で、安心して療養生活を送るために役立つ情報をまとめた冊子です。

身近な相談窓口の情報や、医療費・生活費に関する支援制度などを掲載しています。

あなたやご家族の皆様方に少しでも役立つことができれば幸いです。

なお、本冊子に記載されている各項目の詳細や手続き方法の詳細等については、がん相談支援センターや、各担当窓口にご相談ください。



もくじ



- 1 がん診療連携拠点病院とは 1
- 2 がん相談支援センターにご相談ください 2
- 3 セカンドオピニオンを受けたい 4
- 4 住み慣れた地域で、質の高い治療を継続して受けたい... 5
- 5 治療費が心配 6
- 6 仕事を続けていけるか不安がある 9
- 7 生活費に困った 12
- 8 身体や心のつらさへの支援 14
- 9 自宅で療養生活を送りたい 15
- 10 自宅での療養生活を支援する制度 16
- 11 同じ経験を持つ患者さんの話を聞きたい 17
- 12 その他の参考情報 21

1 がん診療連携拠点病院とは

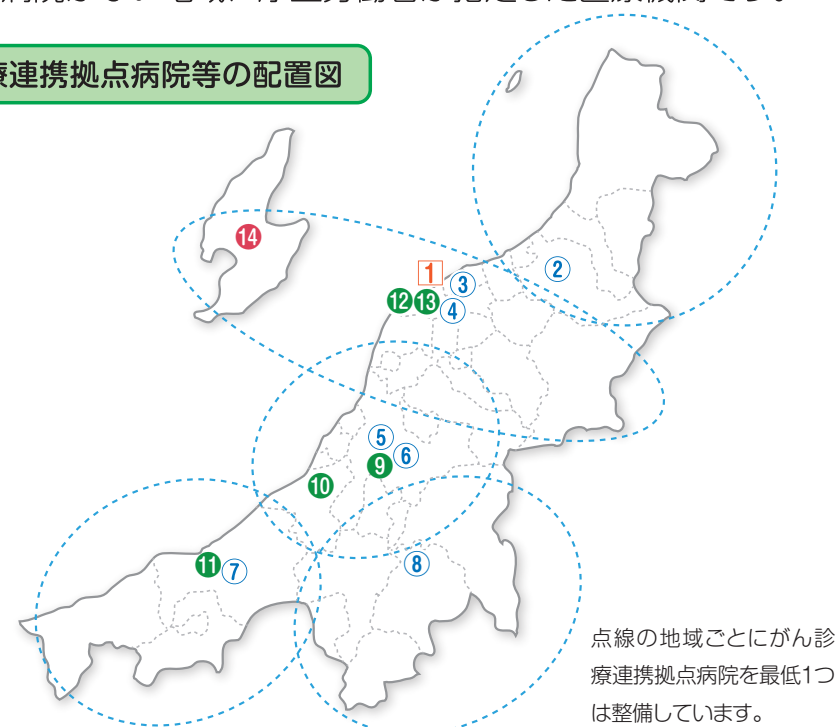


「がん診療連携拠点病院」とは、全国どこでも質の高いがん医療が受けられるよう、厚生労働省が指定した医療機関です。本県では8つの病院が指定を受けています。

また、県では、がん診療連携拠点病院に準じるがん医療や相談支援を行っている5つの病院を「がん診療連携拠点病院に準じる病院」に指定しています。

なお、「地域がん診療病院」とは、基本的ながん診療機能を有する病院で、がん診療連携拠点病院がない地域に厚生労働省が指定した医療機関です。

◆ がん診療連携拠点病院等の配置図



都道府県がん診療連携拠点病院	
① 県立がんセンター新潟病院	
地域がん診療連携拠点病院	
② 県立新発田病院	③ 新潟大学医歯学総合病院
④ 新潟市民病院	⑤ 長岡赤十字病院
⑥ 長岡中央総合病院	⑦ 県立中央病院
⑧ 魚沼基幹病院	
がん診療連携拠点病院に準じる病院	
⑨ 立川総合病院	⑩ 柏崎総合医療センター
⑪ 上越総合病院	⑫ 国立病院機構 西新潟中央病院
⑬ 済生会新潟病院	
地域がん診療病院	
⑭ 佐渡総合病院	

2 がん相談支援センターにご相談ください



がん診療連携拠点病院には、「がん相談支援センター」という相談窓口が設けられています。

がんの診断や治療についてもっと知りたいときや、療養生活について不安や困りごとがあるとき、あなたと一緒に考え、情報を探すお手伝いをします。

相談支援センターでは、相談の内容に応じて、がん詳しい看護師（認定看護師、専門看護師）、薬剤師、栄養士、ソーシャルワーカーなどの専門家が連携して対応できる体制を整えています。

また、地域の医療機関の情報のほか、介護福祉施設や緩和ケアなど療養支援施設に関する情報や、お住まいの市区町村で行っている助成制度に関する情報も提供できます。

匿名でも相談をお受けできますので、安心してご相談ください。

Q.相談料金はかかりますか？

A.かかりません。

Q.誰でも利用できるのですか？

A.利用できます。その病院にかかっていない方でも相談できます。

Q.相談した内容が、担当の医師に伝わってしまいませんか？

A.相談内容が、あなたの了解なしに、担当医をはじめ、他の方に伝わることはありません。どうぞ安心してご利用ください。



こんなときは、がん相談支援センターを利用してみましょう。

- ✓ がんについて「知りたい」
- ✓ がんの治療について「理解して納得したい」
- ✓ 療養生活のことについて「聞いてみたい」
- ✓ 心の悩みを「誰かに聞いてほしい」
- ✓ 生活や経済的なことで「心配がある」
- ✓ 職場にどう伝えればよいか「わからない」
- ✓ 「家族のことも相談してみたい」
- ✓ がん治療による不妊への影響を「知りたい」 など

がん相談支援センターは、あなたとご家族を支えます

がん診療連携拠点病院等の相談支援センター

がん相談支援センター名	住所・問い合わせ先	対応曜日・時間
県立がんセンター新潟病院 がん相談支援センター (患者サポートセンター内)	新潟市中央区川岸町2-15-3 電話:025-266-5161 (直通)	月～金曜日: 午前9時30分 ～午後4時
県立新発田病院 がん相談支援センター (患者サポートセンター内)	新発田市本町1-2-8 電話:0254-22-3121 (代表)	月～金曜日: 午前9時～午後4時
新潟市民病院 がん相談支援センター	新潟市中央区鐘木463-7 電話:025-281-5151 (代表) (内線) 1718	月～金曜日: 午前9時～午後5時
新潟大学医歯学総合病院 がん相談支援センター	新潟市中央区旭町通1番町754 電話:025-227-0891 (直通)	月～金曜日: 午前10時～正午 午後1時～午後4時
済生会新潟病院 医療福祉相談室	新潟市西区寺地280-7 電話:025-201-2525 (直通)	月～金曜日: 午前9時～午後5時
長岡赤十字病院 がん相談支援センター	長岡市千秋2-297-1 電話:0258-28-3600 (代表) (内線) 2123	月～金曜日: 午前8時30分 ～午後5時
長岡中央総合病院 がん相談支援センター	長岡市川崎町2041 電話:0258-35-3700 (代表)	月～金曜日: 午前9時～午後4時
県立中央病院 がん相談支援センター (患者サポートセンター内)	上越市新南町205 電話:025-522-7711 (代表) (内線) 2396	月～金曜日: 午前8時30分 ～午後5時15分
魚沼基幹病院 がん相談支援センター	南魚沼市浦佐4132番地 電話:025-788-0196 (直通)	月～金曜日: 午前9時～午後4時
佐渡総合病院 がん相談支援センター (患者サポートセンター内)	佐渡市千種161 電話:0259-63-6344	月～金曜日: 午前10時～正午 午後1時～午後4時

3 セカンドオピニオンを受けたい



あなたが納得しながら治療を進めていくためには、まず、担当医や看護師に、あなたの状態について率直に伝え、相談することが大事です。

それでも、説明された診断内容や治療方針などについて困ったことがある場合は、「セカンドオピニオン」を活用しましょう。

「セカンドオピニオン」とは、現在治療を受けている担当医とは別に、他の医療機関の医師に「第2の意見」を求めることです。

担当医を替えたり、転院したり、治療を受けたりすることだと思っている方もいらっしゃるかもしれませんが、そうではありません。

担当医の診断や治療方針などを理解した上で、他の医師に意見を聞くことが「セカンドオピニオン」です。

Q.セカンドオピニオンを受ける病院の選び方は？

A.「セカンドオピニオン外来」を設置している病院があります。
まずは相談支援センター（P2、3）に問い合わせてみましょう。

Q.料金はどれくらいですか？

A.基本的に、公的医療保険が適用されない自費診療になります。
料金は病院ごとに異なりますので、病院に確認してみましょう。

Q.担当医に失礼になりませんか？

A.失礼なことではありません。
あなたが、「自分の治療や身体に関して少しでも多くの情報を得たい。」と考えるのは当たり前のことです。

Q.セカンドオピニオンを受けるときの手順を教えてください。

A.大まかな手順は次のとおりです。

- ① 担当医の治療方針を聞きます。（ファースト・オピニオン）
- ② セカンドオピニオンを受けたいという希望を担当医に伝え、紹介状を受け取ります。
- ③ 希望先の医療機関のセカンドオピニオン外来を申し込みます。
- ④ セカンドオピニオンでは、あらかじめまとめていた聞きたいことや希望を伝えます。
- ⑤ セカンドオピニオンを受けたら、結果を担当医に伝え、今後のことを相談します。



セカンドオピニオンを活用すると…

- ✓ 担当医の意見を別の角度から検討することができます。
- ✓ 納得して治療に臨むことができます。
- ✓ 病気に対する理解がより深まります。

4 住み慣れた地域で、質の高い治療を継続して受けたい



地域連携クリティカルパス（連携パス）

「連携パス」は、あなたが住み慣れた地域の医療機関にかかっても質の高いがん治療を継続して受けられることができるように、治療を行った専門病院とお住まいの地域の医療機関とで連携して作成する「診療計画書」です。

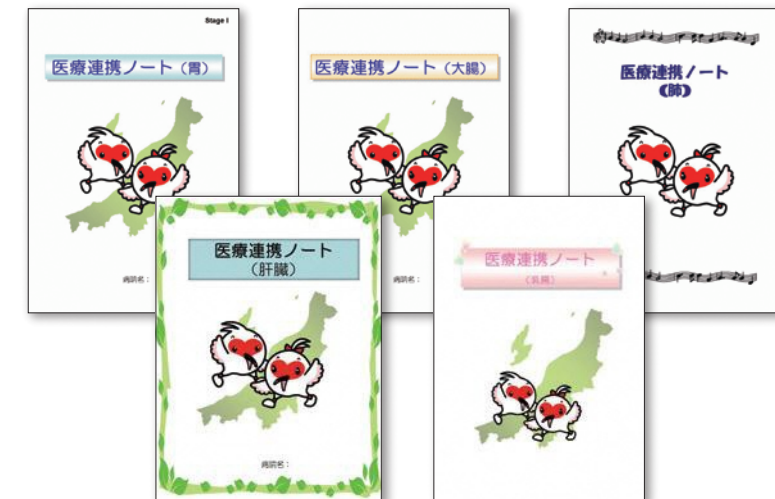
新潟県では、患者数の多い「胃」「大腸」「肺」「肝臓」「乳」がんについて、5年ないし10年先までの診療計画（連携パス）を一冊にまとめた「医療連携ノート」を作成しています。

「医療連携ノート」は、手術などのがん治療を行った専門病院の医師と、住み慣れた地域のかかりつけ医が協力して（医療連携）、専門的医療と総合的な診療を適切に提供するために使用する、患者さん用のノートです。

専門病院医師とかかりつけ医は、診療内容をノートに記載し、共有します。

「医療連携ノート」を活用することにより、患者さん、かかりつけ医、そして専門病院医師が診療に関して情報共有を行い、住み慣れた地域で質の高い治療を継続して受けられます。

◆ 新潟県がん医療連携ノート



医療連携ノートを活用すると…

- ✓ 専門病院の医師とかかりつけ医が治療経過等を共有し、連携して治療を行うため、安心して住み慣れた地域でかかりつけ医の診療を受けることができます。
- ✓ 患者さんがノートを持つことにより、「いつ」「どこで」「どんな」診察・検査を受ければよいかわかります。

5 治療費が心配



医療費の自己負担分には上限が設けられているほか、さまざまな助成・支援の仕組みがあります。

まず、各担当窓口やがん相談支援センター（P2、3）に相談してみましょう。

1 高額療養費制度

医療機関や薬局の窓口で支払った**医療費**（入院、通院、在宅医療などの費用。入院時の食費負担や差額ベッド代等は含みません。）が、1日から月末までの1ヶ月間で、**自己負担限度額**（注：年齢や所得によって異なる）を超えた場合に、**その超えた金額を支給する制度**です。過去12か月以内に3回以上、高額療養費の支給を受けた場合は、**4回目から自己負担限度額がさらに下がります**。

支給申請は、加入している公的医療保険の窓口で行いますが、**医療機関や薬局の窓口でマイナンバーカードの「オンライン資格確認」に同意するか、事前に公的医療保険の窓口で「限度額適用認定証」等を申請し、医療機関や薬局の窓口で提示を行うと、限度額を超える分を医療機関や薬局の窓口で支払わずに済みます**。

令和8年3月現在、国において高額療養費制度の見直しの議論が行われており、自己負担限度額等は変更になる可能性が高いため、本ハンドブックでは自己負担限度額等については記載していません。自己負担限度額等の詳細については、「問い合わせ先」または厚生労働省のホームページをご確認ください。

◆ 問い合わせ先

医療保険の種類		主な加入者	問い合わせ先
健康保険	協会けんぽ(全国健康保険協会管掌健康保険)	会社員とその扶養家族	全国健康保険協会
	組合管掌健康保険		各健康保険組合担当窓口
国民健康保険		農業、自営業者、自由業者、会社を退職して健康保険等を脱会した方	市町村の担当窓口
		国保組合を組織する業種で働く方	各国保組合担当窓口
船員保険		船員とその扶養家族	全国健康保険協会 船員保健部
共済組合		公務員とその扶養家族	各共済組合担当窓口
後期高齢者医療制度		75歳以上の方、65歳以上75歳未満で一定の障害がある方	各市町村の担当課

2 小児慢性特定疾病医療費助成

小児がんを含む「小児慢性特定疾病」の治療にかかった費用については、生計中心者の所得額に応じて助成を受けることができます。

県内に住所を有する18歳未満の方が対象です。

問い合わせ先

各地域の保健所

3 ひとり親家庭等医療費助成制度

父親、母親、養育者がひとりで子どもを育てている家庭では、医療費の助成を受けられる場合があります。

問い合わせ先

各市町村の児童福祉担当課

4 新潟県重度心身障害者医療費助成事業（県障医療）

重度心身障害者に対し、医療費、入院時食事療養費、訪問看護療養費の自己負担額等の一部を助成する制度です。

療育手帳Aの交付を受けている方、身体障害者手帳（1級、2級、3級）の交付を受けている方などが利用できます。

ただし、所得制限により助成を受けられない場合があります。

問い合わせ先

各市町村の障害福祉担当課

5 妊孕性温存療法助成制度

将来子どもを産み育てることを望むがん患者さんががん治療に取り組めるように、将来子どもを出産することができる可能性（妊孕性）を温存するための治療に要する費用の一部を助成する制度です。

問い合わせ先

新潟県福祉保健部健康づくり支援課成人保健係

6 がん患者医療用補整具助成事業

がん患者の経済的・精神的な負担の軽減を図るため、医療用ウィッグや乳房補正具等の購入費用を助成する制度です。

問い合わせ先

各市町村の担当課

(健康にいがた21のHPにて、問い合わせ先を掲載しております)



6 仕事を続けていけるか不安がある



がんの診断を受けても、毎日の暮らしが止まるわけではありません。

診断結果を受け止め、治療方法の選択を考えていく忙しい時期に、多くの方は、仕事の引き継ぎやさまざまな生活の段取りにも直面します。

また、治療がひと段落した後も、職場復帰や経済問題などについて、悩む方は少なくありません。

治療と就労の両立は、がん患者さんとその家族にとって、経済的・社会的・精神的に、非常に切実な問題です。

まずは、担当医から、今後の治療のスケジュールや考えられる副作用、体力回復の見通しなどについて、詳しい情報を得ることが大切です。

もしお勤めの会社に、産業医や産業看護職（産業看護師、産業保健師）がいるなら、働き方について相談することができます。

また、労務管理や社会保険に関する専門職である社会保険労務士や、がん相談支援センターに相談することも一つの方法です。

仕事の仕方や価値観は、本当に人それぞれです。

考えられている選択肢が、ご自身にとって最適なのか、ご家族と一緒によく検討してください。

『がんと仕事のQ&A』

「治療と就労に関するネット調査」に寄せられた体験者の声をもとに、厚生労働省研究班と専門家が作成したQ&A集です。

体験者からのアドバイスやコラム、そして役立つ資料も紹介しています。

「がん情報サービス」ホームページ
(<http://ganjoho.jp/>)からダウンロードできます。



がん相談支援センターからのお知らせ

- ✓ 各制度の詳細や手続き方法等については、各担当窓口のほか、がん相談支援センター（P2、3）でも説明を受けることができます。
- ✓ 助成を受けるに当たり、事前に申請が必要な場合もありますので、ご注意ください。

ハローワークによる就職支援に関する出張相談

がん相談支援センターにおいて、ハローワークの「就職支援ナビゲーター」が、治療や通院を続けながら働きたい方へ就職に関する出張相談を行います。

キャリア・コンサルティングの資格や人事労務管理の経験がある、専門の就職支援担当者「就職支援ナビゲーター」が、マンツーマンであなたの就職を支援します。

能力や適性、病状、治療状況などを考慮して、あなたにぴったりの仕事をご紹介します。

◆県立がんセンター新潟病院

日時	毎週木曜日 午前10時00分～午後1時00分※午後2時～午後3時の予約も可
場所	がん相談支援センター（患者サポートセンター内）
相談予約	がん相談支援センター 025-266-5161（直通）

◆県立新発田病院

日時	毎週第2・4火曜日 午後1時30分～午後3時30分
場所	がん相談支援センター（患者サポートセンター内）
相談予約	がん相談支援センター 0254-22-3121（代表）

◆新潟市民病院

日時	毎月第2水曜日、第4火曜日 午後1時00分～午後4時00分
場所	がん相談支援センター（スワンプラザ内）
相談予約	がん相談支援センター 025-281-5151（内線1718）

◆新潟大学医歯学総合病院

希望される場合はがん相談支援センター（025-227-0891）に連絡願います。
受付日時：平日10時00分～16時00分

◆済生会新潟病院

日時	毎月第3金曜日 午後2時00分～午後3時00分
場所	医療福祉相談室（地域連携福祉センター内）
相談予約	医療福祉相談室 025-201-2525

◆長岡赤十字病院

日時	毎月第1水曜日 午前10時00分～正午 毎月第3金曜日 午後2時00分～午後4時00分 随時ハローワークとのリモート相談も可
場所	地域連携・患者サポートセンター内がん相談支援センター
相談予約	がん相談支援センター 0258-28-3600

◆長岡中央総合病院

日時	毎月第2金曜日、第4火曜日 午後1時30分～午後3時30分 随時ハローワークとのリモート相談も可
場所	がん相談支援センター
相談予約	がん相談支援センター 0258-35-3700

◆県立中央病院

日時	毎月第2、4木曜日 午後2時00分～午後4時00分
場所	患者サポートセンター・がん相談支援センター
相談予約	がん相談支援センター 025-522-7711（代表）

※出張相談は原則予約制です。

新潟産業保健総合支援センターによる治療と仕事の両立支援の出張相談

下表の病院において、新潟産業保健総合支援センターの「保健師・社会保険労務士または産業カウンセラー等」が、治療と仕事の両立に関する出張相談を行います。（出張相談は原則事前予約制です。）

現在の職場での就労継続や職場復帰に関してお悩みがある方はご相談ください。

医療機関名（院内窓口）	所在市町村	相談日	相談予約連絡先
新潟県立新発田病院（患者サポートセンター）	新発田市	随時	0254-22-3121（代表）
新潟県立がんセンター新潟病院（患者サポートセンター）	新潟市中央区	随時	025-266-5161（直通）
新潟市民病院（がん相談支援センター）	新潟市中央区	随時	025-281-5151（代表）
桑名病院（医療福祉相談室）	新潟市東区	随時	025-279-1739（直通）
新潟脳外科病院（医療相談室）	新潟市西区	随時	025-231-5112（直通）
新潟リハビリテーション病院（医療相談室）	新潟市北区	随時	025-388-2120（直通）
新津医療センター病院（地域連携相談センター）	新潟市秋葉区	随時	0250-24-8745（直通）
下越病院（地域医療連携室）	新潟市秋葉区	随時	0250-22-4711（代表）
総合リハビリテーションセンターみどり病院（医療福祉相談室）	新潟市中央区	随時	025-244-0168（直通）
信楽園病院（患者サポートセンター）	新潟市西区	随時	025-260-8101（直通）
新潟南病院（地域医療連携室）	新潟市中央区	随時	025-284-2511（代表）
国立病院機構 西新潟中央病院（医療相談室）	新潟市西区	随時	025-265-3171（代表）
新潟大学医歯学総合病院（患者総合サポートセンター）	新潟市中央区	随時	025-227-0881（直通）
新潟白根総合病院（地域連携支援室）	新潟市南区	随時	025-372-2191（代表）
済生会新潟病院（がん相談支援室）	新潟市西区	随時	025-201-2525（直通）
五泉中央病院（地域連携室）	五泉市	随時	0250-47-8150（代表）
済生会新潟県央基幹病院（連携調整室）	三条市	随時	0256-47-4700（代表）
長岡中央総合病院（がん相談支援センター）	長岡市	随時	0258-35-3700（代表）
長岡赤十字病院（地域連携・患者サポートセンター）	長岡市	随時	0258-28-3600（代表）
立川総合病院（医療相談室）	長岡市	随時	0258-33-3111（代表）
魚沼市立小出病院（医療福祉相談室）	魚沼市	随時	025-792-2111（代表）
齋藤記念病院（医療相談室）	南魚沼市	随時	025-773-5111（代表）
魚沼基幹病院（患者サポートセンター）	南魚沼市	随時	025-777-3200（代表）
南魚沼市民病院（地域医療連携室）	南魚沼市	随時	025-788-1222（代表）
柏崎総合医療センター（患者サポート室）	柏崎市	随時	0257-23-2165（代表）
新潟病院（医療連携相談室）	柏崎市	随時	0257-22-2126（代表）
新潟県立中央病院（患者サポートセンター）	上越市	随時	025-522-7711（代表）
上越地域医療センター病院（患者支援センター医療福祉相談室）	上越市	随時	025-523-2131（代表）
上越総合病院（医療福祉相談室）	上越市	随時	025-524-3000（代表）
佐渡総合病院（総合サポートセンターひまわり）	佐渡市	随時	0259-63-6344（直通）

※上記以外の病院の患者さんは直接、新潟産業保健総合支援センター（025-227-4411）へ御相談ください。

7 生活費に困った



治療中や療養中の生活費等について、一定の条件に当てはまる場合は、次のような制度を利用することができます。

各担当窓口やがん相談支援センター（P2、3）に相談してみましょう。

1 会社を休んで療養する間の生活保障を受けたい

傷病手当金

会社員や公務員などが、病気やけがなどで仕事を休んだために、給料が減るか、もらえなかった場合に所得を保障する仕組みです。

連続して休み始めて4日目以降から（船員保険は初日から）、休業1日につき、給料（標準報酬）の日割り額の3分の2相当が、最長で1年6ヵ月まで支給されます。

なお、この仕組みを利用できるのは、健康保険や船員保険、共済組合の被保険者本人に限られます。

問い合わせ先	加入している公的医療保険の窓口（P7）
--------	---------------------

2 療養中の生活費や治療費を借りたい

生活福祉資金貸付制度

低所得世帯・高齢者世帯・障害者世帯に対して、生活の安定や経済的自立を図ることを目的に、無利子または低利子で必要な生活資金を貸し付ける制度です。

用途別に貸付けの条件や基準が設けられています。

問い合わせ先	お住まいの地域の市町村社会福祉協議会
--------	--------------------

3 重度の障害が残ったため十分に働けないときの保障を利用したい

障害年金（障害基礎年金、障害厚生年金、障害共済年金）

病気などで重度の障害が残った65歳未満の方に、年金を早くから支給する制度です。

人工肛門を造設した方や、初診日から1年半以上が経過しても日常生活や仕事に著しい制限のある方は、受給できることがあります。

保険料の納付期間や一定の障害の状態にあることなどの要件があります。

問い合わせ先	各市町村の国民年金担当課、 お近くの年金事務所、各共済組合担当窓口
--------	--------------------------------------

4 収入がなく経済的に困っている

生活保護

病気で仕事ができない、収入が乏しいといった理由で生活が苦しい場合に、経済的援助を行う制度です。

あらゆる手段を尽くしても、最低限度の生活を維持できないときに、初めて適用されます。

生活保護には、日常生活に必要な費用については生活扶助、必要な医療費は医療扶助、必要な介護サービスは介護扶助というように種類があります。

問い合わせ先	・新潟市にお住まいの方 各区役所の担当課 ・新潟市以外の市にお住まいの方 各市の担当課 ・町村にお住まいの方 県地域振興局健康福祉(環境)部 または 各町村の担当課
--------	--

8 身体や心のつらさへの支援



緩和ケアとは

「緩和ケア」とは、がんと診断された時から、身体の痛みや心のつらさを和らげ、あなたやご家族が「自分らしく」過ごせるよう、幅広い支援を行うものです。

医師や看護師はあなたの痛みの様子を確認しながら、いろいろなやり方で痛みを軽くするようにしていきます。

例えば、痛みを抑える薬や眠れるような薬を処方したり、不安な気持ちを専門家が聞いたりします。

複数の方法を組み合わせることもあり、どのように行うかは、あなたと相談しながら決めます。

また、がん診療連携拠点病院等には緩和ケアを担当する医師、看護師、薬剤師、臨床心理士、ソーシャルワーカーなどで構成する「緩和ケアチーム」があります。

身体の痛みや心のつらさ、不安などがあるときは、いつでも担当医や看護師、がん相談支援センター（P2、3）などにご相談ください。

また、県内では、次のように緩和ケア病棟を有する病院があり、専門的な知識と技術に基づいた緩和ケアを受けることができます。

◆ 緩和ケア病棟を有する病院

病院名	住所	連絡先電話番号
白根大通病院	新潟市南区大通黄金4-14-2	025-362-0260
長岡西病院	長岡市三ツ郷屋町371-1	0258-27-8500
南部郷厚生病院	五泉市愛宕甲2925-2	0250-58-6222
県立加茂病院	加茂市青海町1-9-1	0256-52-0701
長岡赤十字病院	長岡市千秋2-297-1	0258-28-3600
県立がんセンター新潟病院	新潟市中央区川岸町2-15-3	025-266-5111

9 自宅で療養生活を送りたい



住み慣れた自宅で、家族や友人、近所の人たちと触れ合い、できるだけ普段どおりの生活を送りながら療養するために必要な施設や、あなたを支える仕組みが整備されています。

あなたが必要とする施設、利用できるサービスなどについて、がん相談支援センター（P2、3）などに相談して一緒に探しましょう。

◆ あなたを支える施設（例）

在宅療養支援診療所

在宅療養を支える診療所です。

あなたやご家族からの連絡に365日24時間体制で応じ、必要な場合には訪問診療（往診）や訪問看護を行います。また、状態が急変したときには、専門的な治療を行った病院の担当医と連携し、治療法の相談や再入院の手配なども行います。

訪問看護ステーション

通院や外出が困難な場合、看護師または准看護師が自宅を訪問し、医師の指導に基づく診療の補助や、健康管理・相談などのサービス（訪問看護）を提供する事業所です。

地域包括支援センター

介護予防も含め、在宅療養などに関する様々な制度の利用や、介護保険サービス（ホームヘルパーや車いす、電動ベッドなど）、福祉の相談・支援を行っています。お住まいの市町村に設置されています。

居宅介護支援事業所

ケアマネージャー（介護支援専門員）が、あなたの状況や希望を踏まえて介護保険の申請手続きやケアプランを作成し、利用サービスの調整などを行い、日常生活のサポートをします。



にいがた医療情報ネットのご紹介

- ☑ 県が運営しているホームページ「にいがた医療情報ネット」では、がん診療や在宅療養等に対応しているお近くの医療機関を探ることができます。

にいがた医療情報ネット <http://qq.niigata-iyaku.jp/>

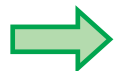
10 自宅での療養生活を支援する制度



自宅で療養生活を送る場合には、在宅医療のための体制や必要な設備、物品などの準備が必要です。

担当医や下記の窓口にご相談して、あなたの生活を支援するための制度を利用しましょう。

1 介護サービスを利用したい



介護保険制度

介護サービスを利用する場合は、介護認定が必要となります。
介護保険サービスは**所得に応じて1割～3割の自己負担**で受けることができます。

対象

- ・65歳以上の方が、要介護・要支援認定を受けた場合
- ・40歳～64歳までの人が、特定疾病により介護が必要となり、要介護・要支援認定を受けた場合

問い合わせ先	各市町村の介護保険担当課 または地域包括支援センター
--------	-------------------------------

2 身体に障害が残ったのでサポートを受けたい



身体障害者手帳

身体障害者手帳は、身体に障害が残った方の日常生活の不自由を補うために、さまざまな助成や支援を受けられるようにするものです。

利用できる助成・支援は、等級に応じて補装具や日常生活用具の支給、交通費や医療費の補助、税金等の減免などがあります。

障害の程度によって1～6級に区分され、それにより受けられる助成や支援内容が異なります。

申請には、都道府県知事に指定された医師に診断書を作成してもらう必要があります。

問い合わせ先	各市町村の障害福祉担当課
--------	--------------

11 同じ経験を持つ患者さんの話を聞きたい



「悩んでいるのは自分ひとりではない」と感じたり、「同じような問題を抱えている人は他にもいる」ということがわかるだけでも、気持ちがずいぶん楽になるものです。

「患者会」や「患者サロン」といった、当事者の視点で話を聞き、支えになってくれる「患者同士が出会える場」、「患者同士の支え合いの場」などを活用しましょう。

患者会とは、同じ病気や症状、障害など何らかの共通する患者体験を持つ人たちが集まり、自主的に運営する会のことです。お互いの悩みや不安を共有したり、情報交換をしたり、あなたをサポートするための様々なプログラムを実施しています。

患者サロンとは、患者さんやそのご家族など、同じ立場の人が、がんのことを気軽に語り合う交流の場です。

患者会や患者サロンは、県内各地域や病院内で活動しています。

Q. どのように探せばよいですか？

- A. 書籍や雑誌、またはがん相談支援センター（P2、3）で情報を得られます。
あわせて、①対象としているがんの種類、②活動地域、③活動目的や活動内容、④年会費なども確認するとよいでしょう。



患者さん同士の支え合いのよいところ

- ✓ 悩んでいるのは自分ひとりではないことに気付き、気持ちが楽になります。
- ✓ 悩みを解決するヒントを得られます。
- ✓ 問題との付き合い方を学ぶことができます。
- ✓ 実際の患者体験に基づいた解決方法を伝え合うことができます。
- ✓ 自分の体験を人に話すことで、自分の気持ちが整理できます。
- ✓ 自分の体験が他の患者さんや家族を支援する力になることを知り、自信を取り戻すことができます。 など

県内のがんサロン

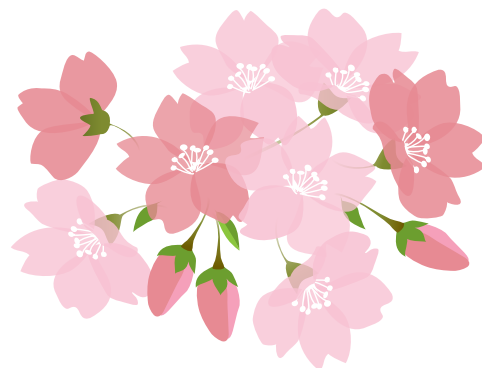
名 称	対象者	開催場所	開催日	活動内容など	参加費	連絡先
いやしの会	県立がんセンター新潟病院でがん治療中の方とその家族	県立がんセンター新潟病院	不定期 ※開催については、随時病院ホームページに掲載します。	がん患者さん同士の語り合い・交流	無料	県立がんセンター新潟病院 患者サポートセンター 電話：025-266-5111（代表）
ひまわり会	済生会新潟病院で乳がん治療中の方	済生会新潟病院	休止中	乳がん患者さん同士の語り合い・交流	無料	済生会新潟病院 医療福祉相談室 電話：025-201-2525
がん患者サロン	がん患者さんとその家族		午後1時～午後3時 年4回季節ごと	専門医からのミニ講演後、がん患者さんやご家族同士の語り合い・交流	無料	
ひだまりサロン	乳がん患者さんならどなたでも	新潟市民病院	原則毎月第1火曜日 午前10:30～午前11:30 ※開催日時が異なる場合もありますので、ホームページ・院内掲示をご確認ください。	乳がん患者さん同士の語り合い・交流	無料	新潟市民病院 がん相談支援センター 電話：025-281-5151
患者サロン	がん患者さんとその家族		開催については、ホームページ・院内掲示にてお知らせします。	がん患者さん同士の語り合い・交流	無料	
がんサロン (オレンジの会)	がん患者さんとその家族、 メディカルスタッフ等	新潟大学医歯学総合病院	不定期 開催については、ホームページ・院内掲示等にてお知らせします。	専門職等からの講義形式での情報提供及びがん患者さんやご家族同士の語り合い・交流	無料	新潟大学医歯学総合病院 患者サロン 事務局 電話：025-227-2413
さくらんぼの会	県立新発田病院でがん治療中の方とその家族	県立新発田病院	不定期 ※開催についてはポスターを院内掲示します。	ミニ講演会と患者さんやご家族同士の語り合い・交流	無料	県立新発田病院 がん相談支援センター 電話：0254-22-3121（代表）
ほほえみサロン千秋	がん患者さんとその家族	長岡赤十字病院 がん相談支援センター	毎月第1金曜日 午後2時～午後3時30分	がん患者さん同士の語り合い・交流	無料	長岡赤十字病院 がん相談支援センター 電話：0258-28-3600
がんサロン	がん患者さんとその家族	長岡中央総合病院	毎月第4木曜日 午後1時30分～午後2時30分	がん患者さん同士の語り合い・交流	無料	長岡中央総合病院 がん相談支援センター 電話：0258-35-3700
がんサロン	がん患者さんとその家族	県立中央病院	年3回 ※開催については、当院ホームページに掲載のほか、パンフレット、院内掲示をご確認ください。	専門医からの話、がん患者さんやご家族同士の語り合い・交流	無料	県立中央病院 がん相談支援センター 電話：025-522-7711
がん患者サロン	がん患者さんとその家族	魚沼基幹病院	年4回 ※開催については、チラシを院内掲示するほか、病院ホームページに掲載します。	ミニ講演会と患者さんやご家族同士の語り合い・交流	無料	魚沼基幹病院 がん相談支援センター 電話：025-788-0196（直通）
ひまわりサロン	がん患者さんとその家族	佐渡総合病院	偶数月第3水曜日 午後1時30分～午後3時	病気や治療についての情報収集、相談など自由に話せる場所	無料	佐渡総合病院 がん相談支援センター 電話：0259-63-6344
公益財団法人がんの子どもを守る会新潟支部	小児がん患児さんとその家族	未定。 お問い合わせください。	不定期 ※開催については、随時本部ホームページに掲載します。	患児家族同士の語り合い・交流	無料	新潟支部 代表幹事 柄澤 幸一 電話：090-8728-1975 本部HP： https://www.ccaj-found.or.jp/
がんカフェ はなのね	がんを経験した方とその家族	①まちなかのとらうべ 新潟市中央区上大川前通11番町1877 ②道材樹シヨールーム 新潟市西区山田493	原則 ①毎月第1,2,3水曜日 ②毎月第4土曜日 ※開催日時については、随時ホームページに掲載します。	医療関係者等が寄り添いながらの、がんを経験した方々やご家族同士の語り合い・交流	500円 (茶菓代)	はなのね 事務局 電話：070-3158-8787 メール： hananone.niigata@gmail.com HP： https://hananone.info



患者会や患者サロンを利用するときの注意したいこと

運営している団体の中には、ある特定の医療機関や医師への受診を勧めたり、特定の治療方法を強く勧める、といった団体もまれにありますので、利用する場合は次のことに注意しましょう。

- ✓ 団体の内容をよく吟味しましょう。
- ✓ 気が進まない場合は、そのことをはっきりと伝えて断りましょう。
- ✓ 特定の治療法や健康食品などを勧められた場合や、困ったことがあったら、担当医やがん相談支援センターに相談しましょう。



12 その他の参考情報



本冊子「がんサポートハンドブック 地域の療養情報にいがた」のほかにも、『国立がん研究センターのがんになったら手にとるガイド』や『もしも、がんが再発したら』などの書籍があります。

本冊子とあわせてご活用ください。



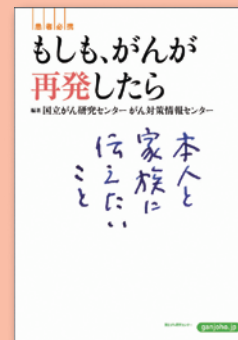
「国立がん研究センターのがんになったら手にとるガイド」は、診断されて間もない時期の方、治療や療養中の方を含めて、病気との向き合い方を考えていきたいあらゆる方々が手にとっていただけるように、想いに寄り添い、支え、医療者との対話の一助となり、親しみやすさと安心感をもたらすような内容構成になっています。



「わたしの療養手帳」は、「自分の体や気持ちと向き合うための道具」です。

納得できる治療を選び、自分らしい生活を送るためには、自分の体や気持ちの状態を知り、また自分が大事にしたいことを整理し、伝えていくことが大切です。

「わたしの療養手帳」は、そのために必要なことを書きとめるお手伝いをする手帳です。



「もしも、がんが再発したら」は、がんの再発に対する不安や、再発に直面したときの支えとなる情報をまとめた冊子です。

がんの再発という事態に直面しても、「希望を持って生きる」助けとなりたいという願いを込めて、再発がんの体験者、がん専門医らとともに検討を重ねて作成されたものです。

これらの書籍は、一般の書店で販売しているほか、国立がん研究センターがん対策情報センターのホームページ「がん情報サービス」でダウンロードすることができます。

がん情報サービス URL:<http://ganjoho.jp/>